

制御用センサ

空焚きを未然に防ぐ安全対策

用途

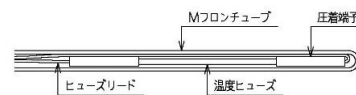
ヒーター空焚き防止センサ及び液面レベルフロートセンサを使用し二重の安全対策をお勧めします。
※他社製温度調節器には、使用できませんのでご注意ください。

外観写真

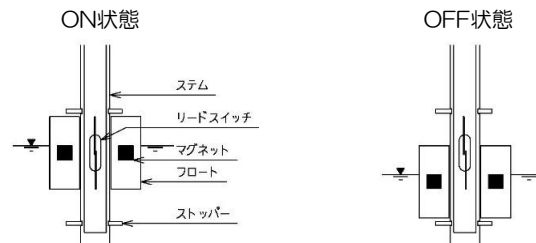


仕組み・構造

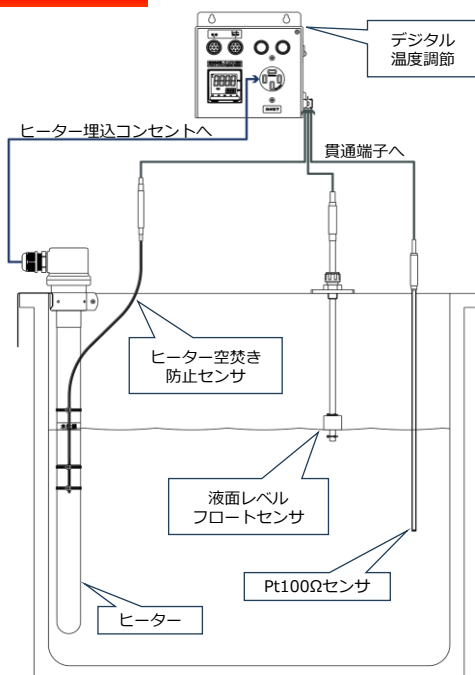
- **ヒーター空焚き防止センサ**は、フッ素樹脂製のチューブ内に温度ヒューズを挿入したものです。温度ヒューズは温度がある値を超えると溶断する加熱保護素子です。ヒーターの空焚きにより異常加熱した時、温度ヒューズで異常加熱を感知してヒーターの回路を遮断しますヒューズの溶断温度は200℃前後で感知（溶断）します。



- **液面レベルフロートセンサ**の原理は「フロート（浮き）」が液体の浮力によって上下し、フロート内部のマグネットにより、ステム内のリードスイッチが作動して検知信号を出力します（下の図を御参照ください）但し、液体の「粘度」や「比重」によっては測定できないこともあります。



スケッチ



取付方法

- **ヒーター空焚き防止センサ (MH)**
 - 1) ストレートヒーターは水位線ラベルの100mm下がった箇所L型ヒーターは底辺寸法の中央に付属のフッ素系結束バンドで上図のように確実に固定してください。
 - 2) 弊社温度調節器の側面に液面レベルフロートセンサ接続端子の**短絡線**を外し、センサーリード線先端の端子を取り付けてください。セットアップ終了後フロート部を手で動かし動作確認をしてからご使用ください。
- **液面レベルフロートセンサ**
 - 1) 取付フランジをタンクの上端に固定してください。
 - 2) シャフト部をスライドさせフロート部を液体加熱用ヒーターの最低水位に合わせ固定してください。
 - 3) 弊社温度調節器の側面に液面レベルフロートセンサ接続端子の**短絡線**を外し、センサーリード線先端の端子を取り付けてください。セットアップ終了後フロート部を手で動かし動作確認をしてからご使用ください。

⚠ その他、詳細な取り扱いに関しては、**取扱説明書**をご覧ください。